

「全鍍連」 2022年 5月号 巻頭言

全鍍連 情報・国際副委員長 上田 泰久 (旭鍍金工業(株) 代表取締役)

「大阪 経営情報国際委員会」



全国鍍金工業組合連合会の会員の皆様には、大変お世話になっております。

全鍍連 情報・国際委員会の副委員長を担当しています大阪府鍍金工業組合の上田です。

「情報・国際委員会」の中で、主要な活動として海外視察がありますが、近年はコロナ禍のため、全て中止という大変寂しい状況が続いております。早くこの状況が終息し、通常に戻ることを願っております。

大阪府鍍金工業組合では、「経営情報国際委員会」を担当させていただいています。この委員会は毎月の広報誌の発行、組合ホームページとメール発信による情報提供、特診・一般健診（年2回）各支部並びに個別事業所での実施と結果報告書提出、全鍍連「景況調査・四半期」並びに「生産額調査・毎月」実施協力などを行っています。

その委員経験の中で一番思い出深かったことは、大阪府鍍金工業組合が2017年に創立100周年を迎えるにあたり、「創立百周年記念誌」を発行したことです。

その記念誌の発行責任者を拝命し、「組合創立100周年記念誌編集委員会」を設け、委員16名、組合事務局と共に、約3年間の取材、編集など長期間に渡る活動とご協力により、記念誌を完成することができました。

本記念誌は50年、80年誌に続いての発行で、次の方針でスタートしました。

- ① 大阪府鍍金工業組合の100年の歴史を後世に伝える。
- ② 単なる記録でなく記憶に残る記念誌にする。
- ③ 先輩経営者の経営などの貴重なお話は当組合の大きな財産であり、可能な限り掲載する。

編集委員が経営者の会社へ訪問させていただき、「私と電気めっき業」というテーマで、長時間に渡り取材させていただき、また、「広報誌よりの思い出」は、何十年間の膨大な広報誌から組合事務局が抜粋・編集したものです。これらをメインとした内容は408ページの重厚な記念誌となりました。

また、記念行事としては、ホテルニューオオタニ大阪で「創立100周年記念式典」を開催しました。森脇理事長挨拶、近畿経済産業局長・大阪府知事・大阪市長、理事長表彰の後、櫻井よし子さんの記念講演、そして祝賀会では祝太鼓、めっき格付けチェックとブルゾンちえみの物真似、めっき講談など、出席者400名、約6時間の盛大な記念式典でした。

これらの行事に参加できたことは、非常に思い出深い、有意義な体験でした。